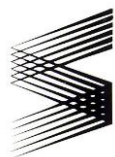


令和4年度



さつきが丘

学校だより
令和5年 1月10日

1月号 第355号

新年 あけまして おめでとうございます

校長 仲川 由佳理



新たな年を迎え、保護者の皆様、地域の皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。令和5年が、ますます幸多き年となることを祈念いたします。

さて、12月23日（金）下校時、門で見送る私に子どもたちは、「よいお年を！」と声をかけて帰っていったのがとても印象的でした。普段は「さようなら！」と声をかけてくれるのに…。「元気に挨拶すてきな子」の本校のキャッチフレーズがこんなところでも浸透しているのがわかりました。これまで積み重ね築き上げられてきたさつきが丘小学校の伝統が感じられ、改めて、引き続き継承するもの、時代の流れに乗り新しく起こしていくものを考えるよい機会となりました。

冬休みはどのように過ごされましたでしょうか。大掃除に向けた家族での役割分担、年越しをするための準備、元旦を迎えるカウントダウンと、新年への抱負を考える…。たった、1秒をまたぐ前に、すべてを整えて新しい年を迎えようとするその様は、私だけでしょうか。「ルーティン＝習慣」とは、成功と失敗の繰り返しの中で身についたもので、限られた時間の中で、よりよく生きるために生み出されたものと思います。例えば、登校時間に遅れないように〇時には起きて…というのも子どもたちは習慣づいているはずで、だから、遅くまで起きていると朝起きられず、親に叱られる!。また、時間に遅れてしまうことがとても悔しいと思うことを経験し、□時には寝たほうが良いと「考えること＝学習」を体得していくのだと思います。

一方で、教育の中では子どもが経験する前に失敗を回避するための術を大人が与えすぎではないかとも考えるときがあります。教師も子どもも失敗を繰り返しながら共に「考えること」を大切にして、自ら学ぶ習慣や逞しく生き抜く力、豊かな人間力を身に付けることを目指したい！そんな学校でありたいと願います。今年も、どうぞよろしく願いいたします。